

第2回県体育館及び陸上競技場兼サッカースタジアム整備検討委員会 議事要旨

1. 日 時 平成19年12月21日(金) 10:00~12:00

2. 場 所 ニューみくら306会議室

3. 出席者 委 員 黒後会長、倉田委員、橋本委員、森島委員、市村委員、熊田委員、
平山委員、宮本委員、大谷津委員、坂本委員

欠席者なし

4. 開 会

(1) 森島スポーツ振興課長による挨拶

(2) 黒後会長による挨拶

5. 議 事

(1) 「第1回委員会の報告 県体育館の問題点について 陸上競技場の問題点について
グリーンスタジアムの問題点について」一括して事務局より説明。

(2) 「他県の総合体育施設、陸上競技場兼サッカースタジアムの概要について」一括して事
務局より説明。

(3) 「新しい県体育館、陸上競技場兼サッカースタジアムの規模・機能等について」各委員
から意見交換を聴取。以下主な内容。

県体育館関係

- ・ 障害者専用アリーナを設置して欲しい。障害者の社会参加ということで県としての姿勢を是非示していただきたい。

- ・ 障害者に配慮した利用料、減免制度を設定していただきたい。

- ・ 設計段階でも利用者の意見を取り入れる仕組み等を設けて欲しい。段差の解消とか、車椅子、オストメイト対応等の多目的トイレの設置、電光表示板の設置、フラストルフ補聴システムの設置、体感音響システムの設置等も検討していただきたい。また、設備の点字装置等も考慮して欲しい。

- ・ 障害者スポーツ特有の器具とかスペースの整備をお願いしたい。例えば、盲人専用の卓球台の他、外部の音が遮断されるような場所が必要となる。

- ・ 是非とも、整備計画の段階から、いわゆる障害者団体等も入れていただきたい。

- ・ 身障者用駐車場の車の後ろの部分の狭い点が盲点になっている現状が見受けられるので検討していただきたい。

・やはり今はバスケットボールコート4面、サブコート2面が必要だと思うので、是非その方向で進めていただきたい。

・交通アクセスだが、郊外にあると交通の便が良くない。また、利用者が分かりやすいような案内標識も設置していただきたい。

・県内の市町村の体育館の中核的な役割を果たす機能が求められてくると思う。そういう意味では県内のスポーツとかイベントの情報発信機能、あるいはインターネットを活用しての県内施設の空き情報やイベントの開催情報、予約などの情報発信機能を大きな機能の一つとして加わるべきかと思う。

・高齢者のスポーツの振興という立場からすれば、健康作りとか生きがい作りのため、現在も体育館や陸上競技場を活用されている方が多いという実態、あるいはこれからも多くなってくると思う。競技者に対する健康相談ということだけではなく、いろいろな目的をもって体育館を利用する方のコンテンツ機能も検討していただきたい。

・市町村の体育館あるいは他の体育館とは当然違う、県内全体の中核施設ということになると思うので、そういった所を踏まえて検討していただきたい。

・体育協会自体を新しい施設へ持って行き、県の協会関係の人達や競技団体も含めて事務局が一緒になれば、いろいろな発信機能にも繋がっていく。

・県のシンボルチックな存在ならば大きな規模でいいのではないか。最終的にトップアスリートが集まる施設であり、それなりの機能がなければならぬ。体育館は、サブアリーナが充実し、メインアリーナとの連携が行われていないと、大きな大会をやる時に支障がある。

・家族が集まって楽しめる施設でないといけない。これからの施設はトップアスリートだけの観点ではいけないと思う。お母さんが隣でプールに入っているときは、子供たちが体育館でバスケットボールが出来る。こういう姿がこれからの体育館だと思う。カフェや育児施設、ゲームセンター、ショッピングセンター等を含めた規模を考えていくべきだし、使いやすい施設というものはそのような気がする。

・群馬の武道場が充実しており、大道場、第一、第二、第三とあるけれども、そこまで必要かどうか分からないが、このぐらいの充実した武道館が隣接していることが弓道場も含めて、必要ではないかと思う。夢があると言うか、大きな大会を誘致できるような将来を見据えた施設にして欲しい。

・観客席については、今年プロチームが栃木県にできて盛り上がってきたバスケットボー

ルを参考にした方が良い。オープン戦は、宇都宮市体育館が満杯になったが、あれよりも1.5倍ぐらいのキャパでいいのかなという感じがした。個人的には2,000席から3,000席あればと思う。

・体育館のサブアリーナだが、試合だけの面積では余裕がないため、アリーナは広めに造り、中2階ないし2階で観覧席を設置していただきたい。どの体育館もサブアリーナは、配慮しているところは少ないと思う。そのような施設であれば助かると保護者たちは思っているのではないかと思う。

・サブアリーナは観覧席が無いということで、不便をきたしていることが多いと思う。いろいろなことに対応出来るということであれば、サブにも観覧席があったほうが、多目的に対応出来て便利だと思う。

・研修室も是非充実させていただきたい。かつて県の体育館でダンスの全国大会をやった時に、アリーナでの実技研修後、研究協議をやる場が無かった。研究協議などを考慮すれば、是非、スクリーンをつけた研修室を充実させていただきたい。

陸上競技場兼サッカースタジアム関係

・観客席は、18,000席から少なくともJ1クラスの観客の収容人員は必要になるのではないか。栃木SCがJ2になったとしたら当然その上を目指すということになる。もしJ2の基準で造ってJ1になった時改修等を考えたら、余計な費用がかかるので、ある程度先行投資というか、その辺を見据える必要になるのではないかと思う。是非そうしていただきたい。

・サッカーの試合では、マッチコミッショナーと呼ばれる、運営に対するすべてのことに対しての責任者が派遣されてくるが、まず一番最初に良く言われることは、観客の動線とか、緊急時の避難対策、身障者席の動線等がどうなっているかについて、いろいろ聞かれる。やはりそういうことに事前に対応したスタジアムにしていいただきたい。大体、階段を通らないと観客席には行けないので、身障者用エレベーターみたいなのがあれば良いと思う。

・陸上競技でも必要になると思うが、電光掲示板、オーロラビジョンを一つ必ず設置していただきたい。

・陸上競技場だが、第1種の公認ということで、規定に準じて造って欲しい。ただ、雨天走路とサッカー場におけるウォーミングアップ場というスペースをとっていただきたい。

・サッカーの場合は必ず選手控え室というのが、ホームチームとアウェーチーム用の2室必要になる。各部屋にはシャワー、トイレ等が設置されている。それと、J1の規定を見ればいろいろ載っているが、審判控え室、小会議室、記者室等必要になる。

・選手はスタジアムに大型バスで来るが、競技場に選手が入るとき、観客と接触を持たない状態でスタジアムの中に入れるよう、駐車場から競技場までとか、競技場のそばにバスを止めてもその周りにサポーターがいないような動線にしていきたい。

・今年の8月に世界陸上で長居競技場に行った時にオーロラビジョンと電光掲示板が2つあり、非常に観客席が見やすかった。左を見ても右を見ても選手の活躍等が写されていて非常に良かった。群馬の体育館のように、できれば、陸上競技場もそういった形で対応していきたい。

・スタンドを全部屋根付きという形のほうが、雨、雷問題を含めてもいいと思う。

・陸上競技の場合は競技に関して全部写真判定になっているので、写真判定室についても整備していきたい。

・観客席を是非可動式で前にせり出すような施設にしていきたい。国立競技場のいろいろな試合を見てもあれだけの距離感があると、サッカーのゲームだとまわりの観客と一体感がちょっと薄れると思う。最近はこの陸上競技場でもサッカー兼用のところは可動席でちょっとせり出す構造にしてあるところが多くなってきているので、そのような形では是非検討していきたい。

・規模的に言うと、参考資料で一番大きいのはエコパスタジアムだが、ここまでは必要ないかと思う。

・体育館で室内で長距離選手が走れるような走路があるところが結構あるが、既成概念にとらわれずに、陸上競技場でも外周を雨に打たれないでも走れるような、子供達がかけっこできるようなそういうものも必要ではないか。Jリーグ基準はあるが、子供達の視点として、そういうかけっこができるとか、遊び場とかがその中であって、試合が見られ、子供達が自由に入れる施設が必要ではないか。子供達が自由に入れる時間の設定や、使用頻度のためにも、芝の育成について調査していただいて、子供達が自由に入れる施設となれば良いと思う。

・土日はトップアスリートが集まって、たとえば隣接した研修所があれば研修所に泊まって、すぐにそこで講習会が開かれる。また、そこに集まった人達が自由に歓談できる。そういうところがすべてこの施設の中に隣接してあるというのが、これからの陸上競技場兼サッカー場ではないかと思う。

・名前も検討して頂きたい。夢のある名前という形で考えて欲しい。

・スタンド周辺を含めて、走れるコースがあるといいと思う。たとえばスタンドの中2階を全部走れるような走路や陸上競技場周辺とかである。現在、健康マラソンを体育協会主

催で、県の総合運動公園を使って行っている。走るコースが非常に少ないので、どうしても外に出なくてはならないというコース設定になっている。そういうことを考えれば、公園施設の中を誰でも気軽に走れるスペースを確保出来れば良いと思う。

・各スタジアムのそばには、必ずサブグラウンドがある。本来ならば近くに設置されるのが一番望ましい。現在、サッカー場が県の総合運動公園に3面あるが、結局芝の管理で養生期間ということで使えなくなってしまう日にちが、1面、年間何回と制約されている。少なくとも1面は芝を残しておいて、2面は人工芝にしていただけると相当利用価値が上がるのではないかと思う。その辺もスポーツゾーンということで一緒に検討していただきたい。

・陸上競技場の外壁を使って、クライミングウォールの施設や他のニュースポーツなどでもできるのではないかと思う。

・香港のスタジアムは、コンクリートの駐車場をテニスコートとミニサッカー場にして使って、コンクリートの上でスポーツをやっている。隣接した駐車場は、大きい大会がない時にはスポーツに開放する。そういう遊びの場を設定するという複合的な仕様というのを考えていただきたい。

・芝の育成ということを見ると、投てき競技はなかなかそこでは難しいかと思うので、投てき競技場の隣接整備をお願いします。

・前回にも話したかと思うが、チケット販売所、売店の問題とかを考慮して欲しい。

・トイレだが、デパートなど新しい施設に行くと良く乳幼児のおむつ交換等ができるようなシステムがある。あのような配慮をしていただきたい。サッカーを見に来る人は若い人からお年寄りまでいるが、乳幼児を抱えて行きたくても子どもがいるからということもなきにしもあらずなので、その辺の施設面の充実ということを考慮していただきたい。

・ドイツのカイザーслаウテルンという、10万人の人口の都市があるが、そこに100年の歴史のある4万6千人規模のスタジアムがある。最初は2、3千人のスタジアムだったが、非常にマネジメントがうまく、市民の同意を得て、敷地をきちんと確保して少しずつ大きくしていき、最終的に4万6千人のスタジアムを造った。日本の経済力とか人口から言って、大きいものを造ってもいいと思うが、栃木県も、トップアスリートに対しての県民の期待度は、まだまだ、これから盛り上がると思う。その辺を勘案して適正な規模で造るべきではないか。造った敷地が非常に狭いと、改築とか長期的に考えた時にできないので、また新しい施設を造るということではなく、そこに、増設するとか改築をするという形で施設が少しずつ良くなる発想で、敷地だけはスペースを確保しながらやっていくべきと思う。

・体育館もスタジアムもそうだが、競技面だけではなく、イベント開催とか、あるいは一般市民の教室とか、あるいは低学年の教室とかで、幅広く使われるので、できるだけ栃木県に立派な施設ができたと誇れるような施設にした方が良いと思う。そういう意味で、席数は、Jリーグの入場者がこれだけの数だということになってしまうと小規模な施設になってしまうので、いろいろな活動をそこで行うということを考えれば、4万人でも5万人でも入れるスタジアムを造っても良いと思う。

・これからの施設は多少興業性を考えて、観客がいかに集まりやすいような施設かということが非常に大事だと思う。お客さんがたくさん集まれば当然そこには何かしら浄財が落ちる訳だから、後にメンテナンスをするような時に非常にそれが助かる形にもなると思う。日本サッカー協会がいろいろ指導しているのは、その辺をポイントにおいて、いかに収益を上げるかということを重要視している。その辺のところも考慮に入れて、幅広くいろいろなことがやれるような施設にするのも非常に大事であると思う。

・利用する立場、見に行く立場のことを考慮すると、駐車場にも限りがあるので、公共交通機関とのアクセスをしっかりと、車を利用しなくても行けるような施設を造れば、それが動員にもつながると思う。不便だと言われるようでは、お客さんは来ないのではないかと思う。